

# 〔呼吸器外科〕

## 研修の特徴と内容

### 【特徴】

以前は、胸部外科として心臓血管領域と呼吸器領域の両方を診療しておりましたが、それぞれの専門性をより高めるために二科に分かれ、2004年3月より当科は呼吸器外科の専門診療科として発足しました。新任教授として長谷川誠紀教授が着任し、スタッフ一一致団結して診療、教育、研究を日々行っております。手術症例は開設以来順調に増え、2006年からは300例、2014年からは400例を超える年間手術症例であり、呼吸器外科領域では国内有数の、大病院に限ればトップクラスの施設となりました。胸腔鏡などを利用する内視鏡下手術は全手術の約70%を占めます。

兵庫医科大学臨床研修プログラムでは、外科専門医プログラム選択者は原則として1カ月当科で研修を行います。将来外科専門医をめざす場合は、この初期臨床研修プログラムで経験されることをお勧めいたします。平成30年度より導入される新専門医制度では、「兵庫医科大学外科専門研修プログラム」を作成し、専攻医に卒業後5年でプロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医を習得することを目標に取り組みます。

### 【内容】

#### ① 一般目標（GIO）

1. 呼吸器疾患の外科治療に参加して、病態および治療体系を学び、基本的な外科診療、検査法、処置法を修得する。
2. 外科医に必要な基本手技および周術期管理を修得する。

#### ② 行動目標（SBO）

1. 適切な問診および身体診察をおこない、胸部X線、胸部CT、心電図、呼吸機能検査など必要な臨床検査を選択および評価できる。
2. 特に患者の状態疾患に応じ、緊急対応の必要性について判断できる。
3. チーム医療の原則や医療法規を理解し、SOAPの方式で適切な医療記録を作成、管理できる。
4. カンファレンスにおいてプレゼンテーションと討論ができる。担当症例については速やかに転科退院サマリーおよび紹介状を作成ができる。
5. 人工呼吸管理、中心静脈確保、循環作動薬の使用、胸腔ドレーンの挿入および管理、気管内挿管および電氣的除細動を含む心肺蘇生法など、周術期管理において必要な手技および治療について精通し、指導医のもとに実施できる。
6. 手術第1ないし2助手として、開胸ならびに閉胸手技さらに胸腔鏡手術手技を指導医のもとに実施できる。
7. 術中の必要に応じた片肺換気を含む呼吸器管理について熟知し、適時麻酔医への依頼ができる。
8. 化学療法について、抗癌剤投与に関する基本知識を習得し、肺癌を含む胸部悪性腫瘍の化学療法の実践ができる。
9. 気管支鏡検査に関する基本的な知識を習得し、助手および術者として指導医のもとに実施できる。超音波気管支鏡（EBUS）による生検も同様に行なえる

#### ③ 研修内容（方略）LS

On Job Training: 指導医および上級医のもとに、上記診療に従事する

#### ④ 教育に関する行事

月	8 : 00～9 : 00	心臓血管外科・呼吸器外科合同術前検討会
	13 : 00～	教授回診
火	手術日(定期)	
	18 : 00～20 : 00	呼吸器合同症例検討会 (病理学、放射線治療科、呼吸器内科、呼吸器外科)
		術前症例検討会(呼吸器外科)
水	13 : 30～	気管支鏡(超音波気管支鏡含む)検査
	17 : 00～	リサーチカンファレンス
木	手術日(定期)	
	8 : 00～8 : 30	術後検討・回診
金	手術日(定期)	

#### ⑤ 研修評価

随時オンライン卒後臨床研修評価システムE P O Cを用いておこない、兵庫医科大学病院  
研修管理委員会の承認を得る。

#### 指導医等

主任教授：長谷川 誠紀

講師：近藤 展行

講師：松本 成司

講師：多久和 輝尚

助教：橋本 昌樹

助教：黒田 鮎美

#### 研修実施責任者

講師：松本 成司